

福岡グリーンイノベーションチャレンジ 事業計画書（記入例）

令和〇年〇月〇日

（宛先）福岡市長

福岡グリーンイノベーションチャレンジについて、以下のとおり提出いたします。

事業名（※新たな事業展開を意識した、なるべく簡潔な名称）

〇〇〇によって温室効果ガス排出量を削減する〇〇〇の製品開発

事業の要約（※全角200文字以内）

従来〇〇〇であった技術について、新たに〇〇〇を行うことにより、〇〇〇する技術を確立する。
そのために、今回、〇〇〇の条件を検討するなどの研究・開発を行う。
これによって、〇〇〇のため、温室効果ガスの排出量を〇〇〇程度削減することとなり、カーボンニュートラルに資することとなる。

補助対象者

所在地 福岡市〇〇区〇〇〇丁目〇〇—〇〇

事業者名 株式会社〇〇〇

代表者の職・氏名 代表取締役社長 〇〇 〇〇

【連絡先】（※事業担当者、経理担当者などを記入）

所在地：福岡市〇〇区〇〇〇丁目〇〇—〇〇 〇〇ビル〇F

連絡担当者名：〇〇 〇〇

所属：〇〇部〇〇課

役職：〇〇課長

Tel：092-〇〇〇-〇〇〇〇

Fax：092-〇〇〇-〇〇〇〇

E-mail：〇〇〇@〇〇〇

補助対象者確認（※交付要綱の要件を満たしているかチェック）

- 福岡市内に本店を置く中小企業者で、将来に渡って福岡市で事業継続する意思を有すること。
- 製品、サービスの開発等を確実に行うに足る能力を十分に有していること。
- 取組み内容について、成果の報告が可能なこと。
- 本市の市税に係る徴収金（市税及び延滞金等）を滞納していないこと。
- 役員が福岡市暴力団排除条例（平成22年福岡市条例第30号。）第2条第2号に規定する暴力団員若しくは同条例第6条に規定する暴力団又は暴力団員と密接な関係を有する者でないこと。

1. 製品開発等について

①背景や目的 ※社会的な課題や顧客ニーズ、産業界の動向などを記入してください。

〇〇〇については、現在〇〇〇であり、社会的にも〇〇〇といった点が課題となっている。また、顧客からも〇〇〇という点の改善を求められており、産業界の動向を踏まえると、〇〇〇の開発が期待されている。

本開発は、〇〇〇の技術を新たに確立することで、〇〇〇という点でカーボンニュートラルに資するものであり、〇〇〇の問題を解決し、〇〇〇となることを目的とする。

②製品開発等の概要 ※どのような製品開発等を行うのか、そのあらましを記入してください。

既存の製品である〇〇〇について、〇〇〇の改良を行うことにより、〇〇〇を開発するもの。〇〇〇の成果を経て、一定の技術を確立した後は、〇〇〇によって量産を行い、〇〇〇によって販売を行う予定である。

③課題及び解決方法 ※事業目標を達成するための課題と、その解決策を記入してください。

既存の製品においては、技術的に〇〇〇といった点が課題となっている。環境面においても〇〇〇という点が問題であり、年間〇〇〇程度の温室効果ガスを排出している。

今回の製品開発では、〇〇〇という方法の研究を進め、〇〇〇という結果を得ることにより、技術的には〇〇〇の課題を解決しつつ、〇〇〇の効果でカーボンニュートラルにも資するものである。

④スケジュール・計画 ※補助対象期間を含め、開発等に係る全体の計画について、実施項目を箇条書きにした上で、原則月単位でスケジュールを記入してください。（別紙にてスケジュール表などの添付可）

1. 〇〇〇の調査（〇年〇月～〇年〇月）
2. 〇〇〇の研究（〇年〇月～〇年〇月）
3. 〇〇〇の品質テスト（〇年〇月～〇年〇月）
4. 〇〇〇の量産（〇年〇月～〇年〇月）
5. 〇〇〇の販売開始（〇年〇月～〇年〇月）

今回の事業計画においては、上記の「2. 〇〇〇の研究」における、〇〇〇の工程について、補助金の交付申請を行うもの。（※別紙スケジュール表を参照）

⑤事業の優位性 ※類似事業や従来事業の現状、競合相手などを踏まえて、新しい要素・特徴、優れている点など記入してください。

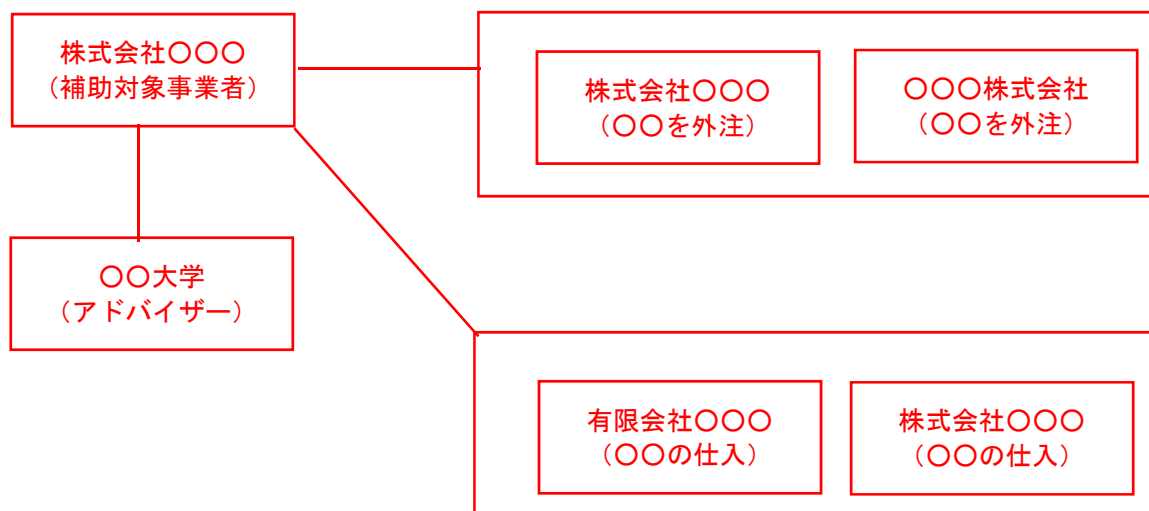
今回開発する製品については、同業他社の従来製品と比較して、以下の優位点がある。

	補助対象事業者	A社（製品例①）	B社（製品例②）
性能	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
コスト	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
脱炭素への貢献	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇

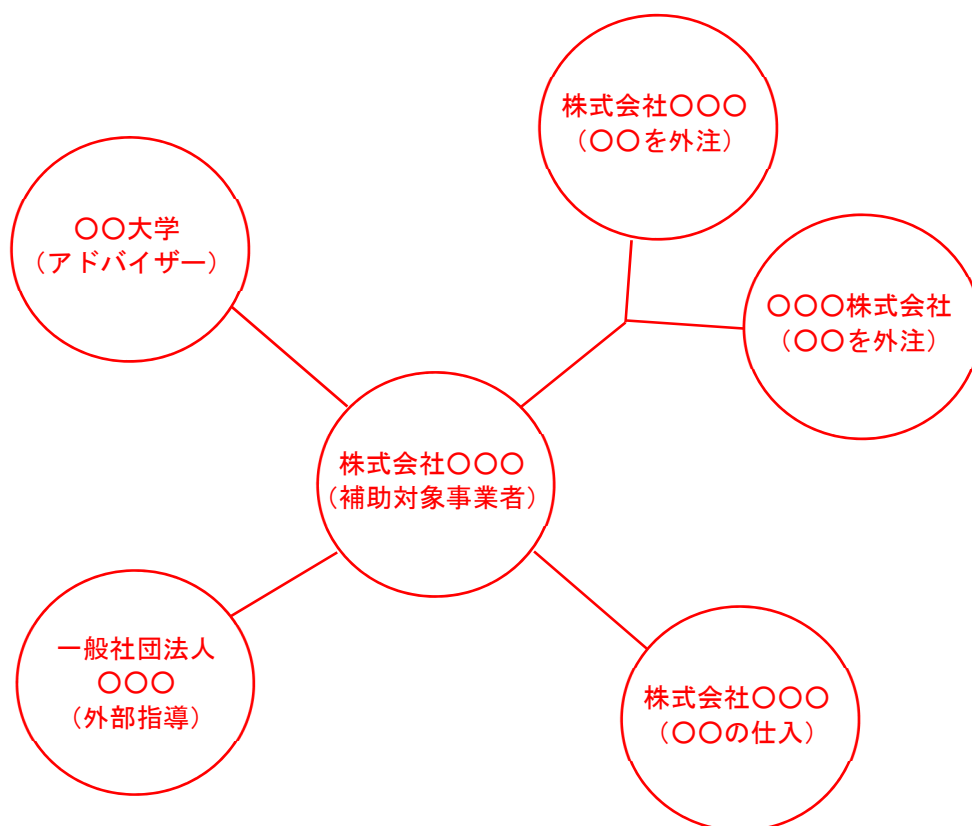
<p>⑥市場性・成長性 ※ターゲット顧客、市場規模（国内・国外）、市場獲得の方策、価格帯、販売経路、販売見込みなどについて、市場の現況を踏まえて記入してください。</p> <p>顧客のターゲットは〇〇〇を想定しており、国内市場規模については〇〇〇であることから、今回の製品開発が実現し、〇〇〇と同程度の価格帯が実現できれば、〇〇〇からの乗り換えが加速すると見込んでいる。</p> <p>国外市場についても、〇〇〇の状況であるため、〇〇〇の販売経路を活用することで、令和〇〇年頃には海外展開も計画している。</p>		
<p>⑦事業化可能性 ※リソース調達等、事業化に向けたアクション、事業パートナーとの連携状況などの課題と、その解決策を記入してください。</p> <p>本事業完了後、市場化にあたっては〇〇〇といった課題が想定される。そのため、〇〇社との提携や〇〇大学との共同研究によって、〇〇による解決策を検討中である。</p>		
<p>⑧カーボンニュートラルへの貢献 ※温室効果ガスの排出の削減量など、可能な限り数値等によって、貢献性を具体的に記入してください。</p> <p>製品開発が完了し、市場に流通した場合、仮に福岡市内の〇〇〇箇所に導入されたとすると、1箇所あたり従来〇〇kg - CO2/年の排出量であるところを、〇〇kg - CO2/年まで削減できることが可能であり、福岡市全体で〇〇〇t - CO2/年の二酸化炭素排出量の削減が想定される。</p>		
<p>⑨市民への貢献等 ※経済活性化への寄与や脱炭素ビジネスのモデル化の可能性など、アピールしたいポイントについて記入してください。</p> <p>今回の事業によって、〇〇〇が導入されれば、福岡市発の新たな脱炭素ビジネスのモデルとなることが期待され、〇〇〇市場が活性化することで、需要の創出も見込まれる。</p>		
<p>⑩安全性の確保・法令の遵守等 ※安全面や関係法令に係る課題と、その対策を記入してください。また、他者が持つ先行特許等について、どのような調査を行ったのかを記入してください。</p> <p>〇〇〇の工程において、〇〇〇といった危険性があるが、〇〇〇の資格を有する職員を配置することで、安全面の課題は十分に解決できる。</p> <p>開発する製品についても、〇〇〇の安全基準を満たしており、使用上の危険はない。</p> <p>また、類似する先行特許に〇〇社の製品〇〇があるが、〇〇〇によって調査を行っており、特許権の侵害の恐れはないと判断している。</p>		
<p>⑪公開性の確保 ※今回の補助対象事業を完了した際に、実績についてどの程度の内容を、どのような手段で市民等に対して公開できるか、記入してください。</p> <p>補助対象事業完了後、〇〇〇の範囲については公開可能である。「福岡グリーンイノベーションチャレンジ」採択事業の実績として、令和〇年〇月頃には会社のホームページ・SNS・メールマガジン、〇月頃には広報誌等に掲載することが可能である。</p>		
<p>⑫国・地方公共団体等への申請状況 ※今回の事業の内容に関わらず、申請中の補助事業や過去の事業実績等について、記入してください。</p>		
申請先（制度等）	申請事業名	交付状況（申請・提案中、採択決定等）
<申請中> 〇〇省〇〇庁 令和〇年度〇〇〇事業	〇〇〇について	令和〇年〇月申請 令和〇年〇月頃採択見込み （総事業費：〇〇〇千円）
<過去> 〇〇市〇〇局 平成〇年度〇〇〇事業	〇〇〇について	平成〇年〇月交付決定 （総事業費：〇〇〇千円 補助金額：〇〇〇千円）

2. 事業パートナーについて

- ⑬開発にかかる事業パートナー（外注先、仕入先、販売先、社外専門家等）
※役割分担と共に体系的に図示してください。名称を記載できない場合は匿名でも可とします。
(例 1)



(例 2)



3. 事業費について

⑭ 事業費等総括表（税抜き）

（単位：千円）

経費内訳	補助希望額 (A)	自己負担額 (B)	合計 (A+B)
1 原材料費・消耗品費	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
2 機械装置等の購入費・リース料	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
3 開発場所の賃料	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
4 外注加工費	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
5 人件費	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
6 外部講師等技術指導費	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
7 調査費・旅費	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
8 その他経費	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
合計	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇

※補助金の額は補助対象経費の2分の1又は200万円のうち、いずれか低い額を上限とします。

⑮ 経費明細表（税抜き）

区分	種別（品名等）	仕様	単位	数量	単価 （千円）	補助経費 （千円）	自己負担 （千円）	合計 （千円）	備考
1 原材料費・ 消耗品費	〇〇〇	〇〇〇	個	100	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	
2 機械装置等 の購入費・ リース料 ※1	〇〇〇（購入）	〇〇〇	台	2	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	
	〇〇〇（リース）	〇（〇月）	式	2	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	
3 開発場所の 賃料	〇〇作業所	〇〇	日	90	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	
4 外注加工費	〇〇 〇〇〇	〇〇の測定	時間	10	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	
5 人件費 ※2	〇〇 〇〇〇	〇〇作業	時間	200	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	
6 外部講師等 技術指導費	〇〇 〇〇〇	〇〇の指導	時間	10	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	
7 調査費・旅 費	〇〇〇	福岡～東京	回	3	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	
8 その他経費									
合計						〇〇	〇〇	〇〇	

※1 「機械装置等の購入・リース料」については、仕様が明記されたカタログ等を添付することとします。

※2 「人件費」は「時間単価（健保等級単価）×作業時間数」にて算出することとします。

4. 実施体制について

⑩実施体制

事業者名	株式会社〇〇〇			
代表者	フリガナ	〇〇 〇〇		
	氏名	〇〇 〇〇		
	役職	代表取締役社長	生年月日	昭和〇〇年〇月〇日
本社所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 TEL : 092-〇〇〇-〇〇〇〇 E-mail : 〇〇〇@〇〇〇			
事業の実施場所	〇〇工場 : 〇〇市〇〇番地〇〇 〇〇オフィス : 〇〇市〇〇区〇〇〇丁目〇〇-〇			
連絡担当者 ※1	(所属) 〇〇部〇〇課 (役職) 〇〇課長 (氏名) 〇〇 〇〇 TEL : 092-〇〇〇-〇〇〇〇 E-mail : 〇〇〇@〇〇〇			
資本金	〇〇〇〇 (万円)	設立年月日	平成〇〇年〇月〇日	
従業員	(全社) 〇〇〇〇人 (福岡市内) 〇〇〇〇人 (開発担当部門) 〇〇〇〇人			
事業内容	業種	〇〇〇〇		
	主な株主と比率 (%)	〇〇〇社 〇%、〇〇〇社 〇%、〇〇〇社 〇% 他		
	主な取引先	〇〇〇社、〇〇〇社、〇〇〇社 他		
	過去2年間の業績 ※2	売上高 (千円)	営業利益 (千円)	主要製品
	令和〇年 〇月期	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
令和〇年 〇月期	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
組織 (特に研究開発部門を詳細に)	本社 技術部 開発担当〇〇人 管理担当〇〇人 事業部 事業担当〇〇人 〇〇支社 総務部 営業課 〇〇人			
主な開発実績 (特許の有無等)	・ 〇〇〇 (特許登録済み) ・ 〇〇〇 (特許なし)			
関係する大学・ 機関の研究等	〇〇大学〇〇研究室と〇〇について共同研究の実績あり (令和〇年〇月~令和〇年〇月)			

※1 事務局からの連絡に確実に応答できる方を記入してください。

※2 過去2年間の財務諸表(貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書など)を添付してください。